



# いきいき

1月  
第42号

## 伊丹市民生委員児童委員連合会



イラスト 池内美奈子 氏

### 民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは隣人愛をもって  
社会福祉の増進に努めます
- 一、わたくしたちは常に地域社会の  
実情を把握することに努めます
- 一、わたくしたちは誠意をもってあらゆる  
生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- 一、わたくしたちはすべての人々と協力し  
明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 一、わたくしたちは常に公正を旨とし  
人格と識見の向上に努めます

### ◆目次◆

新年のごあいさつ	..... P 2
活動報告	..... P 3
ふれ愛福祉サロン紹介	..... P 5
こんにちは！民生委員さんっ！！	..... P 6
こども食堂紹介	..... P 7
お知らせ	..... P 8

# 新年のご挨拶

伊丹市民生委員児童委員連合会

会長 小林 育子



あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。昨年は、能登半島で元日に発生した地震や9月の水害と、自然災害が相次ぎました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

地球温暖化や気候変動といった地球規模の課題が続く中、私たち一人ひとりができることは限られています。それでも、ゴミの削減や分別、エコバッグの使用など、小

さな行動を積み重ねることを意識しています。おそらく皆様も同じだと思います。こうしたささやかな心掛けでたいそうなことを申しますが、次世代を担う子どもたちに誇れる故郷を残したいのです。

さて今年も、地域にお住まいの方々の見守りや、ひきこもり、ヤングケアラー、虐待、貧困など支援を必要とされる方々を関係機関へ繋ぐ「パイプ役」として、安心して暮らせる地域づくりにお力を発揮してください。委員の皆さまお一人お一人のお声かけが、ほっこりとした温かい気持ちとして伝わり、地域に温かな安心感を広げることでしょう。

皆様におかれましては、どうか健康にご留意いただくとともに、本年も当連合会へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊丹市長 藤原 保幸



新年明けましておめでとうございます。民生委員・児童委員の皆様には、お健やかに令和7年の初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

平素は本市の福祉行政をはじめ、市政各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年は阪神・淡路大震災から30年という大きな節目を迎えます。未曾有の被害からの復興を経て、また、近い将来、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震への備えが必要とされる中、皆様におかれましては、日々、地域住

民、とりわけ高齢者や支援が必要な方を見守り、行政など関係機関へつなぐパイプ役を担っていただき、大変心強く感じているところです。

本市におきましては、「第6次伊丹市総合計画」に掲げる将来像「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現を目指し、防災や防犯体制の強化、医療体制の整備など安全・安心のまちづくり、更には未来を担う子どもたちの教育や子育て支援、都市イメージの向上など、誰もが住み続けたいと感じることのできる伊丹のまちづくりに今年も全力で取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、伊丹市民生委員児童委員連合会の益々のご発展と、皆様にとって本年が、希望に満ちた幸運な年になりますことを心からお祈りいたします。

社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会

会長 行澤 睦雄



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様におかれましては、日頃より、本会の活動に深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和6年は、元旦より能登半島地震が発生し、8月には日向灘沖地震により、初めて南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど、様々な自然災害に見舞われるとともに、過去最も暑い夏となりました。

また、近年の少子高齢化や単身世帯の増加に加え、コロナ禍の影響もあり、人とひととのつながりが希薄化し、

孤立する世帯が増加する中、物価が高騰したことで生活が困窮する世帯も増加しております。

そのような中、本会では、第7次地域福祉推進計画で掲げている「誰もが自分らしく安心して暮らしていけるまちづくり」の実現をめざし、民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様のご協力のもと“お互いに気にかけてあう関係性の構築”をより一層進めるとともに、各種事業に取り組んでまいりました。現在、本年4月からスタートする第8次地域福祉推進計画の策定中であり、更なる地域福祉を推進する取り組みを進めてまいりますので、本年も引き続き、ご支援とご協力をよろしくようお願い申し上げます。

結びに、伊丹市民生委員児童委員連合会のより一層のご発展と、委員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。



## 高齢者福祉部会 研修報告

日時：令和6年7月18日（木） 行先：西播磨総合リハビリテーションセンター 福祉用具展示ホール「コム・プラザ」 参加者数：31名

### ■ 池尻小学校区 豊岡 ゆかり

兵庫県西部のたつの市にある「兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター」へ研修に行きました。広々とした芝生広場やたくさんの木々に囲まれた自然豊かなところにあります。

研修では、まず研修交流センターで説明を受け、リハビリテーション西播磨病院のビデオ映像を見た後、施設内の見学をさせていただきました。

「ふれあいスポーツ交流館」では、いろいろなスポーツを楽しむことができます。プールには25mのメインプールに加え、車椅子に乗ったまま入ることができる水位の浅いコースもあり、またジャグジーでリラックスする事もできるようです。また体育館はバスケットコートが2面もとれる広さがあり、車いすバスケットボール大会も開かれているそうです。まだ記憶に新しいパリパラリンピックで、選手の方々が使用されていたような車輪がハの字形になっているのが特徴的な競技用の車椅子に乗る体験をされた方もおられました。

福祉用具展示ホール「コム・プラザ」には、食器・お箸・靴・歩行器・杖等々日頃あれば便利だな、助かるなと思われるものが、全て揃っているのではと感じる程、多種多様な物が展示されています。赤ちゃんロボットや介護用アシストスーツ、フットレストにつまづいての転倒事故を回避できるよう改良された車椅子、排泄物の処理の手間が省けるトイレなど、機能的で人にやさしく負担をかけにくくなるように日々進化しているのだと感じました。

最後に、杖を選ばれる時の長さの目安は  $\text{身長} \div 2 + 3\text{cm}$  だそうです。ぜひ参考にしてみてください。



## 子ども福祉部会 研修報告

日時：令和6年9月30日（月） 行先：社会福祉法人「湘南学園」（滋賀県大津市） 参加者数：51名

### ■ 有岡小校区 山中 光博

滋賀県大津市の社会福祉法人「湘南学園」へ視察研修に行きました。

湘南学園は日露戦争などの出征軍人の遺児や孤児の救済を目的に創設され、今日まで120年間年中無休で運営され、児童への支援を始め障がいのある方の支援など、現在の福祉各分野へ取り組みを広げられています。

創設当初は両親などと死別した戦災孤児の救済措置でしたが、現在ではネグレクト、家庭崩壊、貧困などから円満な家庭生活が不可能な乳幼児、小学生、中高生が学園で生活し、子どもたちが自立するまでの支援をされています。

その他にも、朝早くから夜8時頃まで開園しているこども園も併設し、稼働世帯への支援や障がいのある方の就労支援施設としてのお店も運営されていました。

今回研修で考えさせられたことは、現在児童養護施設に入所している子どもや、心寂しく過ごしている子どもたちを創ったのは、一義的にはその保護者、そしてこの児童に接する身近な人たちだとは思いますが、子どもたちの窮状の早期発見と対策対応を支援する事により、児童への社会的偏見などを防ぎ、いきいきと楽しい生活が送れる社会でなければならないと想う研修でした。



## 全体県外研修報告

日時：令和6年10月7日（月）～8日（火）、10月9日（水）～10日（木）

先行：「鳥取こども学園」（鳥取県鳥取市）・「兵庫県立但馬長寿の郷」（兵庫県養父市） 参加者数：78名

### ■ 摂陽小校区 武田 松利

10月の初旬に、2回に分け全体県外研修を行いました。

秋雨（慈雨）のなか、社会福祉法人「鳥取こども学園」・兵庫県立「但馬長寿の郷」での研修は考えさせられました。

鳥取こども学園はその基盤が1906年（明治39年）に設立され、120年後の現在では乳児から高校生までが生活をしており、児童養護施設では、子どもは年齢別に6名が兄弟を構成し、職員4名が親の役割を行い、この10名が1チームとして1軒の家族のように家で暮らされています。また、乳児、保育園、児童養育、一般の人が子育て相談ができるところ、診療所等々、子どもに関わる様々な施設を運営されています。

キリスト教『愛』の精神をベースに社会福祉法人（高齢者・子ども・障がいのある人・自然災害で被災した人を支援する事業体）として運営され、国庫補助金・県・市・各種団体・色々な企業・地元商業者・個人寄付など沢山の山の人々に支えられているそうです。

「私達は、子ども一人ひとりのありのままを受容し、子ども一人ひとりのかけがえのない命をはぐくみ育てることを使命としています。私達は、子どもたちを飯のたねにする福祉屋にはなりたくありません。」を法人の基本理念とされており、この考え方で運営されていることに感銘を受けました。

一方、兵庫県立但馬長寿の郷では高齢者の平均寿命の考え方をベースに、現在発表されている平均年齢より我々世代はもう少し長く生きていく中で大切なことは社会性であり、色々な人々と関わり合いながら楽しく生きていくことが「ピンピンコロリ」につながり、老後生活を充実させるコツだと教えられました。また、私達民生委員・児童委員の活動も、引きこもりがちの方の社会とのつながりを担っていることを再確認させていただきました。

私はこの研修を通じて、今後の民生・児童委員の活動において、以下の点に気を付けながら活動したいと感じました。

「高齢者には『共助』・『自助』      「困難な状況に置かれている児童には『援助』」



## 全国民生委員・児童委員リーダー研修会報告

日時：令和6年10月17日（木）～10月18日（金）

先行：全国社会福祉協議会「灘尾ホール」（東京都千代田区）

### ■ 南小校区 幹事 大田 久雄

「民生委員・児童委員の充実と継続性を高める民児協運営」というテーマで研修を受けました。

少子超高齢化、人口減少社会となりつつある日本社会の変容により、地域で解決していく地域力、お互い支えあい共生していける福祉力が脆弱化していく傾向にある中、今日的な生活課題（福祉・介護予防・高齢者の孤立）といった多領域へのアプローチが、今後増々必要になっていくと思いました。

民生委員・児童委員としての行動方針として、以下6つが示されました。

『①気づく ②つなぎ、見守る ③つなぎ先を増やす ④地域に活動を伝える ⑤住民相互に支え合う地域づくり ⑥災害にそなえる』

あくまでも民生委員は、「つなぎ役」であるとはいえ今後増々重要となり、その活動も多領域化していくと感じました。

その後、グループ討議へ移り、ブレインストーミング方式で皆さんの様々な忌憚のないご意見を伺うことができました。民生委員同士、相互の間で連絡・調整が円滑に行われているか、その為には日常的にコミュニケーションがとれているかが大切だと思います。

コミュニケーションとは、「自分を変え、相手を変える為にある」と講師が仰ったことが印象に残りました。コミュニケーション力、あるいは「人間力」なるものがリーダーとして最も必要不可欠な要素であると感じました。又、皆さんの発想の豊かさには驚かされました。まだまだ経験足らずですが、今回の経験を生かしてこれから奮闘、努力していきたいと思えます。

## 東近江市視察受入れ報告

日時：令和6年9月17日(火) 参加者数：63名

### ■ 民生委員児童委員連合会 理事 前田 久美子

令和6年9月17日、「東近江市民生委員児童委員協議会会長副会長研修」と「伊丹市民生委員児童委員連合会視察交流研修」が伊丹市で合同開催されました。この研修は2017年に伊丹市から役員・幹事研修で東近江市民協を訪問したことがあり、今回は東近江市民協が民生児童協力委員設置のため伊丹市の活動状況とその連携のポイントを研修したいという依頼から実現しました。東近江市からは各民協会長、副会長、主任児童委員、行政、東近江市社協より合計35名、伊丹市は民児連会長、副会長、理事、各校区幹事、主任児童委員幹事、社協より合計28名での研修です。

民生児童協力委員とは、民生委員・児童委員(以下、民生委員)とは異なり身分はボランティア。兵庫県知事と県民生委員児童委員連合会会長から委嘱されます。伊丹市は民生委員1人につき2人設置され、民生委員にとって最も信頼のおける協力者です。今回の交流研修では、東近江市民協の訪問研修の目的である協力委員の必要性を視野に入れ、阪部副会長が協力委員について説明を行い、天神川小校区の池本ミツ子民生委員から小地域における見守り活動について活動実践報告を行いました。そして、報告を基に両市の民生委員でグループワークしました。それぞれの活動範囲の違いや活動の中での工夫も共有しました。協力委員の必要設置有無に関しては、伊丹市民児連の現状から東近江市民協も地域の実情、環境に応じた対応を検討していきたいという前向きな意見が出ていました。

今回の交流研修では他市の状況を知る事ができたことに加え、民生委員としてのやりがいはもちろんのこと、日々の活動は協力委員さんの存在なくしては、決してひとりではできないものであることを再確認できた有意義な交流研修になりました。



## 地域ふれ愛福祉サロン「にこにこ会」

日時：毎月第2・3月曜日 12:00～13:00 場所：若竹センター

参加者：28名 民生委員8名 協力委員7名 計43名 参加費：600円(弁当・味噌汁・果物・コーヒー・紅茶・お菓子)

### ■ 花里小校区 小野 希民子

サロン「にこにこ会」はひとり暮らしの高齢者を対象に食事会を中心とし、地域の方々との交流を楽しむ会です。コロナ前は高齢者施設の伸幸苑で月1回行っていたのですが、コロナ対策により会場がお借り出来なくなり、令和4年3月から若竹センターを利用し2班に分けて活動しています。毎回お弁当は業者に届けてもらうのですが、味噌汁は手作りしています。お椀に野菜たっぷりの具沢山で参加者の方は「美味しい！」と言って毎回楽しみにされています。食事の後はコーヒータイムでお喋りをしたり、紙芝居や時には社会福祉協議会の方が参加して熱中症や食中毒、オレオレ詐欺の話などをしてくださり、日々の生活に役立っています。クリスマスには皆でケーキを食べプレゼント抽選会もあります。参加されている皆さんはとても仲が良く会話が弾み、いつも笑い声に溢れ和やかです。現在は2班に分けての活動になっているので、また伸幸苑で全員が集まって月1回の活動が出来るようになってほしいと思っています。



**▶自己紹介**

2014年、47歳で民生委員を引き受けて今年で10年を迎えます。伊丹の常岡病院で生まれ、57年間伊丹でどっぷり生活しております。いまだに、近所の方や昔から知ってくださる方は“えみちゃん”と呼ぶし、どちらかと言えば“えみちゃん”と呼ばれるのが普通な感じですよ。

**▶民生委員になったのは**

私の前の民生委員は母でした。母は「私の次はあんたやからね」と毎度のことのように言っており、私も役員などを引き受ける性格のため「そうなるかも」くらいに思っていたのですが、それはまだまだ先の話と思っていました。

しかし、母が69歳であちらの世界へ逝ってしまい、そんな話が私に降り注ぎました。「なんぼなんでも民生委員を引き受けるのは早すぎる」と思い、断ったその夜に母が枕元で悲しい顔で私を見ているのです。目が覚めた時、母の意思を引き継がないとダメなのだと思い気持ちが固まりました。

**▶民生委員の仲間たち**

いざ、民生委員の定例会など集まりに参加するようになったら、自分の地区ではもちろんですが母がお世話になっていた他の地区の民生委員さんが声をかけて励ましてくださり、母との思い出話で再び母と触れ合えた気持ちになりその方たちにとっても支えられました。

今でも変わることなく、お会いできた時は抱き着いて手を握らせていただいています。

現在一緒に活動をしている方々にもかわいがっていただき、感謝しかありません。

**▶活動について**

10年も活動をしているのでいろんな経験をさせていただきました。何度も訪問してやっと心を開いてくださる方や、いつも頼ってくださる方が様々ですが、その時々時代の背景や生活状況が手に取るように感じられ、考える事ができる立場だと思っています。

近年では子どもの相談が増えており、何かしら生きづらい世の中になってしまっているのではないのでしょうか。

私の力など役に立たないかもしれませんが「この人に相談して良かった」と思ってもらえるような民生委員になろうと思っています。

**▶最後に**

横のつながりが持ちにくい昨今、どうすれば本当に困っている方の力になれるのか、手を差し伸べる方向はどちらなのかよく考えて活動していきたいと思っています。

大好きな故郷で民生委員をさせていただいていることに感謝して、次の世代にこの気持ちのバトンを渡せるように活動に励みたいと思います。



# こども食堂

## 紹介コーナー

緑丘小  
校区

## こども食堂「みどりっ子食堂」

場 所 大鹿交流センター

- 日 時 毎月第2木曜日17時～(受付は18時まで・ただし完売時点で終了)
- 料 金 小学生以下 100円 中学生以上 300円
- 参加者数 利用者 90人 ボランティア 29人 (女性 24人・男性 5人)
- メニュー カレー (年8回)・シチュー・豚丼・牛丼・三色丼 (すべて副菜付)



## ■ みどりっ子食堂 代表 武田 伸晃

みどりっ子食堂は令和3年10月に大鹿交流センターを拠点として、毎月第2木曜日の17時から開催、コロナ禍のなかでは感染対策などにも追われましたが、当初50食から始め、令和4年1月からは90食となり、早々に完売となる場合もあって、多くのこどもたちの利用があります。

こども食堂は貧困家庭や孤食のこどもを支援する食堂としての部分もありますが、今は誰でも参加できる異学年(年代)が集まる地域の居場所のひとつとして、食事の提供だけでなく、異世代の交流、コミュニケーションの場としてもにぎわっています。

開催場所の大鹿交流センターは公共の施設では珍しく木造の建物(平成17年建造)であり、こどもたちが床に寝そべることができるなど人気の建物です。

オープン前の16時から17時までは学生ボランティアさんと一緒にこどもたちが宿題などを持ち寄っての勉強タイムを設け、また、定期的にバルーンアートやクリスマスなど季節のイベントを行っています。月に1回の開催ですが、友達同士で来るこどもたち、お母さん方同士の話などでいつもにぎやかで、みなさんの笑顔が見られます。

1回の開催に多くのボランティアさんに関わってもらっていますが、調理に関してはボランティアさんの都合に合わせ、可能な時間帯にお手伝いいただくようにしています。メニューがカレーの場合は野菜のカットだけに来ていただいているボランティアさんもいます。

近年、社会問題のひとつにこどもの不登校問題があがっており、こども食堂はこどもにとって、学校、家庭以外のひとつの居場所としての役割も注目されています。不登校児童がこども食堂に参加し、その後、学校との連携の中でクラス復帰ができた事例もあります。みんなの笑顔が好きなスタッフとともに、地域ぐるみでこどもたちを見守り、育ていけるひとつの場所でも考えています。

いずれは社会へ出ていくこどもたちですが、こども食堂に参加し、楽しかった思い出づくりとともに、今後のこども食堂の地域での役割や、これを繋いでいくことも課題としてあります。

市内でもこども食堂が増えました。それぞれの地域でのこども食堂への支援や協力を今後もお願いしたいところです。



勉強タイム



コマまわし

兵庫県  
功労者表彰



稲野小校区  
小林 育子

全国社会福祉  
協議会会長表彰  
民生委員・児童委員  
功労者表彰



昆陽里小校区  
岸本 恭子

社会福祉功労者  
厚生労働大臣表彰



桜台小校区  
永島美佐子



伊丹小校区  
濱田代里子

全国民生委員連合会会長表彰

永年勤続民生委員・児童委員表彰



伊丹小校区  
石川 和代



伊丹小校区  
濱田代里子



伊丹小校区  
田中 明美



有岡小校区  
平野 和子



有岡小校区  
荒木 雅子



神津小校区  
後中 加子



神津小校区  
林 紀美子



神津小校区  
鬼塚 國子



神津小校区  
辻元 恵子



瑞穂小校区  
川上 文子



瑞穂小校区  
今中千佳子



天神川小校区  
赤瀬 幸恵



南小校区  
田中 賀子



南小校区  
櫻木佳代子



稲野小校区  
佐々木道治



桜台小校区  
堀 高典

兵庫県知事表彰 社会福祉事業功労者表彰

優良民生委員・児童委員表彰



伊丹小校区  
田中 明美



有岡小校区  
平野 和子



有岡小校区  
荒木 雅子



神津小校区  
後中 加子



神津小校区  
林 紀美子



神津小校区  
鬼塚 國子



神津小校区  
辻元 恵子



緑丘小校区  
深江 和子



瑞穂小校区  
川上 文子



瑞穂小校区  
今中千佳子



荻野小校区  
中島 教子



南小校区  
田中 賀子



南小校区  
櫻木佳代子



昆陽里小校区  
大槻恵美子



稲野小校区  
佐々木道治



桜台小校区  
堀 高典

ご協力  
ありがとう  
ございました

赤い羽根共同募金

令和6年10月1日～12月9日  
現在、伊丹市内で  
5,288,725円の募金が  
集まりました。



伊丹心身障害対策市民懇談会の手をつなぐ愛のバザー

令和6年10月1日～10月6日（10月6日バザー当日）  
仕分け・値付け・会場設営・販売等に延べ38人の民生委員  
児童委員が参加しました。バザーの売り上げは666,712円  
（協力金を含む）でした。

編集後記

あけましておめでとうございます。  
いき☆いき第42号にも、地域ふれ愛福祉サロン活動や民生委員・児童委員の活  
動を掲載することができました。ご協力下さった皆様に感謝申し上げます。  
これからも皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。よろしくお願いたします。  
瑞穂小校区 川上



発行所 伊丹市民生委員児童委員連合会  
編集 伊丹市民生委員児童委員連合会 広報部

〒664-0014 伊丹市広畑3-1 いたみいきいきプラザ内  
TEL 072-785-0860 FAX 072-787-6911



「広報いきいき」が伊丹市のホームページでもご覧いただけます。ぜひご確認ください。